

平成26年度 福祉教育推進セミナー開催要項

「ともに生きる」～糸賀一雄の精神と福祉教育のこれから～

1 目 的

鳥取県社協が進めてきた福祉教育は、鳥取県出身で「知的障がい児の父」と言われた糸賀一雄氏の言葉、「ともに生きる」の精神を受け継ぎ、「福祉の心」を育む実践活動を長年積み重ねてきました。

平成21年から鳥取県独自の取り組みとして進めている「あいサポート運動」、平成25年「手話言語条例」が制定され、学校教育、社会教育現場でも障がいを理解する取り組みが広がりつつあります。この流れから、昨年4月から11月にかけて開催された第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会の開催へと結びつき、約4万人の参加を得て大きな盛り上がりを見せました。

本セミナーでは、糸賀一雄氏が唱えた「ともに生きる」の精神を今日的に継承し、福祉教育の新たな展開の方策を探ることを目的に開催します。

2 主 催

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会

3 後 援（予定）

鳥取県 鳥取県教育委員会 鳥取県社会教育協議会 鳥取県PTA協議会

4 日 時

平成27年2月14日（土） 13:30～16:00

5 会 場

倉吉福祉センター 大会議室

倉吉市福吉町1400番地 電話 0858-22-5248

6 参加対象

学校教員及びPTA関係者、教育委員会関係及び福祉行政関係職員
市町村社協役職員及び関係者、社会福祉施設、公民館、社会教育施設等の関係者
福祉学習サポーター、地域で福祉活動等に携わっている方、興味・関心のある方

7 日 程

13:00	13:30	13:40	14:40	14:50	16:00
受付	開会	講義 (60分)	休憩 (10分)	鼎談 (70分)	閉会

8 内 容

(1) 基調提案（13：40～14：40）

「ともに生きる」からはじめる福祉教育～糸賀一雄の思いを受け継ぐ形で～

■講師 鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授 國本 真吾 氏

(2) 鼎談（14：50～16：00）

テーマ「共感を育む福祉共育を考える」（仮題）

鼎談者 ・NPO法人アートピアとっとり 代表 田村 輝彦 氏

・倉吉北高等学校 市田 梢 氏

・鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授 國本 真吾 氏

昨年10月に倉吉市魚町に障がい者が生み出す作品を常設展示する拠点「倉吉白壁ミュージアム無心」をオープンさせた、“NPO法人アートピアとっとり”。「障がい者と健常者」「福祉とアート」「アートと地域社会」など、さまざまな境界を超える実践の場として期待されている。

倉吉北高等学校には、「福祉」を選択できるコースがあり、高齢者施設等との交流活動、校外のボランティア活動などをおして福祉を学ぶ。また、昨年11月に開催された「全国高校生第1回手話パフォーマンス甲子園」にも出場。

これらの2つの事例を踏まえつつ、「ともに生きる」を今日的に継承していくために、今後、福祉共育に期待されるものは何かを考える。

9 参加費

無 料

10 参加申込

(1) 別添「参加申込書」により、必要事項を記入のうえ、本会へお申込みください。

申込期限：平成27年2月10日（火）まで

参加申込書、開催要項は本会ホームページからダウンロードできます。

URL <http://www.tottori-wel.or.jp/>

(2) 参加申込書に記載された個人情報は、本研修会の参加者受付や連絡、参加者名簿の作成以外には使用しません。

11 その他

会場は駐車スペースが大変少なくなっております。お越しの際は、乗り合わせて会場いただくか、近隣にあります J A鳥取中央の駐車場に駐車してください。

12 お問い合わせ・申込先

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 地域福祉部（担当：桑村、田中）

〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5 県立福祉人材研修センター内

電 話 0857-59-6332 ファクシミリ 0857-59-6340

メール kuwamura@tottori-wel.or.jp